

教委だより

No.439



令和6年7月24日

編集発行 富山県教育委員会
 発行人 教育企画課長



教育長の訓辞



辞令を受け取る安田陽紀教諭



辞令を受け取る高畠爽教諭



宣誓を行う田近光教諭

新規採用教職員233名に辞令交付

県の新規採用教職員辞令交付式が3月29日（金）に富山県教育文化会館で行われ、233名が教職員としての第一歩を踏みだしました。

式では、代表者の安田陽紀教諭（射水市立中太閤山小学校）と高畠爽教諭（氷見高等学校）が辞令を受け取った後、田近光教諭（富山市立速星中学校）が「全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を執行する」と宣誓しました。

荻布教育長は、「楽しむ心を忘れず、自分自身のウェルビーイングを大切にしながら、子供たちの笑顔と共に歩いていってほしい」と訓辞しました。

●令和6年度 採用状況は次のとおりです。

◆教員（養護教諭6名、栄養教諭3名を含む）	231名
小学校	119名
中学校	47名
義務教育学校	1名
高等学校	32名
特別支援学校	32名
◆実習助手	1名
◆寄宿舎指導員	1名
◇合計	233名

Contents (主な内容)

● 新規採用教職員辞令交付式	1p	● 総合教育センターNOW	7p
● 就任のあいさつ	2p	● みんなで食育の充実を	8p
● 新任室課長のあいさつ	3~4p	● ストレスチェックについて	8p
● 教育委員会の機構改革について	5p	● 第41回「とやま賞」贈呈式	9p
● 令和7年度富山県公立学校教員採用選考検査の実施について	5p	● とやま親学び推進協議会	9p
● とやま科学オリンピック2024	6p	● 「高志の国文学」情景作品コンクール作品募集	10p
● 親子でSTEAM体験事業	6p	● 第73回富山県民謡民舞大会「ふるさと民謡民舞まつり」	10p
● 令和6年度富山県立高等学校定時制入学者選抜について	6p		

就任のあいさつ



よろしくお願ひします

教育長 廣島 伸一

このたび教育長に就任しました廣島です。

教育委員会では、平成29年度以来、7年ぶりの勤務となります。

この間には、コロナ禍という、これまで想像できなかった事態への対応などがありました。また、わが国の現状をみると、経済面では、人口減少、とりわけ生産年齢人口の減少が進む中でデジタル技術の駆使などによる生産性の向上が、また、社会面では、多様な価値観、考え方を認め合うことなどが求められています。

こうした状況を踏まえると、これからの時代を担う子どもたちに対し、改めて、県の教育大綱に示す「真の人間力を育む教育」を提供することが必要であると考えます。

このため、市町村教育委員会をはじめ関係機関、関係団体と協力しながら、課題の一つひとつに取り組むとともに、学校現場を児童生徒そして教職員の皆さんにとってより魅力あるものとなるよう努めていきたいと存じますので、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。



G7富山・金沢教育大臣会合の成果を形に

教育次長 小杉 健

春の人事異動で教育次長に就任しました小杉です。どうぞよろしくお願ひいたします。

教育委員会への配属は初めてですが、昨年5月の「G7富山・金沢教育大臣会合」を前所属で担当した際は、教育委員会の方々と連携し、機運醸成や情報発信などに取り組みました。中でも最も印象深いのは、大臣会合に先立って開催された「こどもサミット」です。富山・石川両県の中高生が、「自分と社会のよりよい未来」について真剣に議論を重ね、宣言書をまとめました。大臣会合本番のオープニングでは、「こどもサミット」に参加した中学生の代表が宣言書を英語で説明し、各国大臣からの教育に関する質問にも自らの言葉で堂々と答える場面があり、議長の永岡文部科学大臣からは「日本の宝」だと称賛されました。

また、大臣会合では、今後の教育の方向性等が「富山・金沢宣言」として世界に発信され、その中に、富山県の政策の柱である「ウェルビーイング」の向上策が盛り込まれたことも大きな意義がありました。

今後は、富山県において、これら教育大臣会合の成果を形にしていくことが大切です。将来を見据え、「こどもまんなか」の視点で、精一杯、教育委員会の仕事に取り組んでいきます。

新任室課長のあいさつ



「対話」

教育次長・教育みらい室長 中 崎 健 志

4月から小中学校課と県立学校課を統合して教育みらい室とし、市町村立学校や県立学校といった枠を超えて、チームとして、これまで以上に市町村教育委員会と連携しながら、諸課題に対応することになりました。

これまで、いくつかの高校で管理職を経験しましたが、全員が同じ考えを持つことなど当然あり得ず、教職員の意見を取りまとめて、学校という組織を運営する難しさを感じていました。

最近読んだ埼玉大学経済経営系大学院の宇田川元一准教授の著書『他者と働く』には、「人はそれぞれナラティブ（物語。自分とは異なる解釈を生み出す枠組み）を持っており、お互いそれを理解できないために問題が複雑になっていく」ということが書いてありました。問題の解決には、自分とは異なるナラティブで生きている人が存在することを想像し、互いの接点を見つけ出すことが必要で、その方法が「対話」であるとしています。劇作家の平田オリザ氏も、著書『わかりあえないことから』で対話の重要性を語っています。

学校という組織がうまく機能するためには、この「わかりあえない」ことを前提にした、教職員、子ども、保護者、関係者らの対話が、これからの時代に必要なのではないかと考えています。



ウェルビーイングを実現する教育環境の充実のために

参事・教育企画課長 板 倉 由美子

コロナ禍で制限のあった教育活動が徐々に再開され、学校現場にも子供たちの元気な声が戻ってきました。そのような中で、1月1日に発生した能登半島地震により、多くの学校施設が被害を受けました。

教育企画課では、子供たち一人一人のウェルビーイングを実現するための教育環境の整備充実のためにも、早期の復旧を進めるとともに、学校施設やICT環境の整備に向け、力を尽くしてまいります。

また、STEAM教育の先駆けであり、富山を背景としたふるさと教育の要素も目的としている「とやま科学オリンピック」の開催などハード・ソフト両面からの取組みに向け、精一杯努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



ブラッシュアップ

教育みらい室 県立高校課長 土 肥 恵 一

今の高校生に求められる学びは、探究的な学びや協働的な学び、個別最適化された学びなど新しい文言で様々に語られますが、従前の教育内容を精査すると同趣旨の取組は、既に多くの高校、多くの先生方の手で行われてきています。既存のものの良さを磨き上げ、生徒が伸びやかに躍動する機会をより多く提供いただきたいと願っております。

組織改編により教育みらい室内に新たに設置された県立高校課は、学事担当と高校教育担当から成り、それぞれ就学支援等学校事務全般と高校教育全般を受け持っています。生徒らが、所属する高校で充実した活動を送れるよう、そしてそれを支援する教員をはじめとする学校スタッフが、職務に邁進できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



子供たちの笑顔のために

教育みらい室 特別支援教育課長 魚津直美

「富山県特別支援教育将来構想」は、ご覧いただけましたか。これは、富山県における特別支援教育の目指す姿とその実現に向けた取組を整理した令和4年3月策定のもので、当課は、この将来構想に基づき、障害のある子供の自立と社会参加に向け、就学前から、小・中・高等学校・特別支援学校での充実した生活、そして就労・進路等にいたる事業に取り組んでいます。

子供たちの生活の充実には、子供を真ん中に置いた関係者の連携が不可欠です。子供たちが笑顔で一人一人が輝き社会で活躍できるよう、学校そして関係部局とも連携を深め、微力ながら力を尽くしてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



将来構想はこちらから



県立高校の目指す姿とは

教育みらい室 県立高校改革推進課長 丸田祐一

昨年度、県立高校教育振興検討会議において、①県立高校の再編に関する学校規模・基準について、②学科・コースの見直しについて、③様々なタイプの学校・学科について、検討を重ねていただき、本年4月に提言をまとめていただきました。

今年度は、この提言を踏まえ総合教育会議において、地域の様々な声をお聞きしながら丁寧に議論を進めていくため、学区毎にワークショップを開催しているところであり、今後は意見交換会を開催していきます。

当課の業務が円滑に進むよう、そして未来の子どもたちに充実した教育環境が提供できるよう、微力ながら努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



教育活動環境の充実に向けて

教職員課長 安川賢一

教職員課は、教職員の任免、給与、服務、採用に関する事務等を所掌しており、本県の教育を担う組織が、円滑かつ効率的に機能するようサポートしていくことが役割であると考えています。

本県の未来を担う子どもたちの健やかな成長と確かな学力の習得のため、教育の現場においてそれぞれの立場で日々ご尽力されている教職員の皆さんの声をお聞きし、微力ではありますが、働き方改革の推進をはじめ、教育活動環境の充実に向けて力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



子どもたちの健やかな成長を願って

保健体育課長 五島直樹

当課は、児童生徒が「生きる力」を育み健やかに成長するため、学校体育活動の充実と体力の向上、食育の推進、学校保健・学校安全の推進といった、学習や生活のベースとなる業務を行っています。

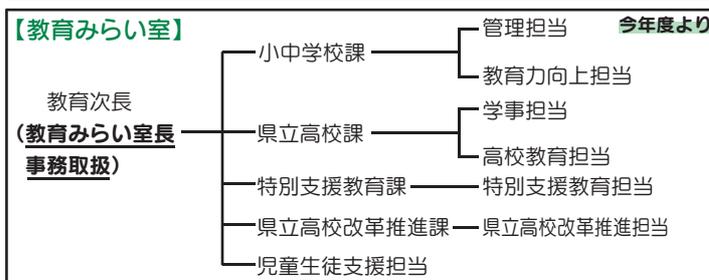
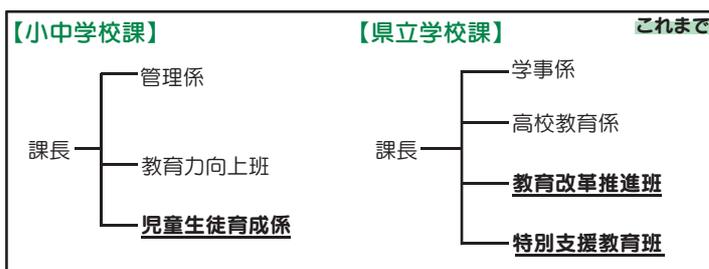
また、公立学校共済組合富山支部とともに教職員向けの福利厚生事業を実施しています。

児童生徒の体力向上や休日部活動の地域移行、食育や薬物乱用防止など健康教育の増進、学校・家庭・地域等の連携による地域ぐるみの安全対策の維持・継続、教職員の心身の健康の維持増進など課題は多いですが、子どもたちの健全な成長と、日々ご尽力されている先生方のご苦勞に微力ながら力を尽くしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

教育委員会の機構改革について

今年度、県教育委員会では機構改革を行い、これまで学校教育に係る諸課題に対処してきた「小中学校課」、「県立学校課」を「教育みらい室」に統合し、チームとしてこれまで以上に、市町村教育委員会と連携しながら、市町村立学校や県立学校といった枠を超えて諸課題に対処するため、横断的な組織体制としました。また、不登校児童生徒数及びいじめ認知件数が過去最高となっている現状や、厚生部等他部局との連携が必要な事案の増加を踏まえ、児童生徒支援に対処する担当課長を新設するとともに小中学校、県立学校を問わず対処が必要な特別支援教育、さらには喫緊の課題である県立高校改革への対処にあたり、それぞれ担当課長を室の直下に配置しました。

機構改革を契機として、ウェルビーイング向上を目指す本県の教育がより一層充実したものとなるように、支援してまいります。



令和7年度 富山県公立学校教員採用選考検査の実施について

たくましく生きる力を持った“富山の子ども”をはぐくむため、意欲と情熱のある人を求めています。

検査の概要

1. 受検区分

〔一般選考〕と〔特別選考〕〔社会人経験A〕〔社会人経験B〕〔教職経験〕〔特定資格〕〔国際貢献〕〔スポーツ実績〕〔障害者〕〔大学推薦〕

2. 今年度実施の教員採用選考検査の変更点

- ①一般選考の全種目において、大学3年次で第1次検査受検を可能としました。
- ②一般選考、特別選考ともに特別支援学校受検者における専門教科筆答検査の内容については、教科に関する問題を廃止し、特別支援教育に関する共通問題のみとしました。
- ③特別選考「教職経験」について、令和6年3月31日まで継続して3年以上の勤務経験がある本県以外の自治体の教職経験者で、かつ、令和6年4月1日から令和6年5月31日までの間に、富山県公立学校において、臨時的任用の講師又は非常勤講師等教職員として勤務した者若しくは勤務をしている者を対象として追加しました。
- ④特別選考「大学推薦」（指定大学枠）を拡大しました。
- ⑤特別選考「大学推薦」（指定大学院枠）について、中学校・高等学校「工業」「情報」において、富山大学、富山県立大学に加え、修士学位取得（取得見込）者向けの推薦対象校に金沢大学、金沢工業大学を追加しました。

3. 志願状況

	小学校	中学校 高等学校	特別支援 学校A	特別支援 学校B	養護教諭	栄養教諭	計	
一般選考	323 (196)	361 (291)	29 (21)	13 (13)	45 (41)	16 (15)	787 (577)	888 (678)
特別選考	37	47	10	2	4	1	101	
前年比	+30 (△7)	+10 (△60)	+6 (△2)	1 (+1)	△9 (△13)	+2 (+1)	+40 (△80)	

() は大学3年次での志願者を除いた数字

4. 検査期日

第1次検査：令和6年7月13日(土)・14日(日)
第2次検査：令和6年8月17日(土)・18日(日)

5. 合格発表

第1次検査合格者の発表：令和6年8月中旬まで
合格者（名簿登載者）の発表：令和6年10月上旬まで

6. 採用予定人数

一般選考・特別選考合わせて340名程度（特別選考「障害者」若干名を含む）



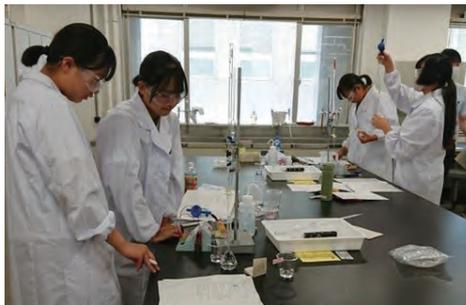
とやま科学オリンピック2024

— むずかしいところがおもしろい — ～考えよう 楽しもう 科学の世界～

- 【中学校部門】
1. 実施日 8月3日(土) 9:10~11:20
 2. 会場 魚津高校、富山中部高校、高岡高校、砺波高校
 3. 実施方法 個人で筆記問題に取り組む
- 【高校部門】
1. 実施日 8月9日(金) 9:00~12:30
 2. 会場 富山大学理学部、県総合教育センター
 3. 実施方法 2人1組ペアで共通問題、選択した数学・物理・化学・生物の筆記・実験・観察問題に取り組む。



昨年度の中学校部門



昨年度の高校部門化学分野

ホームページをご覧ください。



(とやま科学オリンピックHP)

親子でSTEAM体験 とやま親と子の【科学×防災】学校

1. 実施日 8月24日(土) 13:00~16:00
2. 会場 中滑川複合施設メリカ(滑川市田中新町39番地5)
3. 対象 小学校、義務教育学校、特別支援学校5・6年生の親子
4. 内容 実験「災害の不思議を体験!サイエンスショー」
考察「考えてみよう!段ボールと科学」
体験「避難所を体験してみよう!」



秋入学のチャンスがあります! 定時制高校

令和6年度富山県立高等学校定時制の課程(単位制後期)入学者選抜について

- 実施校** 新川みどり野高等学校、雄峰高等学校、志貴野高等学校、となみ野高等学校
- 志願期間** 9月2日(月)から9月4日(水)までの間、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、9月4日(水)は正午までとする。
- 検査実施期日** 9月11日(水)
- 合格者の発表** 9月13日(金) 午後0時30分
- 連絡先** 教育みらい室 県立高校課 高校教育担当 TEL (076) 444-3450 内線4614



総合教育センター **NOW**

教育研修部

令和6年度若手教員研修<初任者研修会>・新規採用教員研修会

本年度も4月の開講式を皮切りに、標記研修会がスタートしました。第2回の研修では、昨年度の受講生からの意見を参考に、電話対応や名刺の受け渡し方といった基本的なビジネスマナーを学ぶ機会を設けました。研修後、早速「地域の方から名刺を受け取る機会があり、自信をもって対応できた」という反応がありました。また、本年度より実施可能な場合は、15分程度の情報交換の場を研修後に設けています。受講生からは「いろいろな話をざっくばらんにできるので、楽しみや不安を共有することができている」「回を重ねるごとに初任者の親睦が深まっている」といった意見が寄せられています。今後も受講生の声に耳を傾け、よりよい研修となるように研修を計画していきます。



情報交換

6月には「協力校研修1」が校種別に実施されました。高等学校初任者向けの「協力校研修1」では、6月10日に氷見高等学校、6月11日に南砺福野高等学校、6月17日に魚津工業高等学校を会場に、先輩教員による授業の参観、教科別研究協議を行いました。初任者にとって勤務校以外の教員の授業を見る貴重な機会となっただけでなく、同じ教科の初任者同士で日頃の疑問や悩みを共有し、先輩教員からのアドバイスを今後の授業づくりに役立てる充実した時間となりました。9月以降、初任者の授業をもとに協議する「協力校研修2」が予定されています。これまでの研修を生かした授業実践が見られることを期待しています。



協力校研修

科学情報部

理科教育講座(自然観察)

本研修は、市町教育センターと協業で年間4回、小学校・中学校・特別支援学校の先生方を対象に実施しています。主に学校周辺でできる観察を行い、自然の見方や観察の方法等について学びます。また、川原や地層の観察等では、写真や動画を撮影して教材を制作し、授業で活用することができます。

勤務校の地域だけでなく、他の地域の自然を知り比較することは、児童生徒の指導に役に立ちます。実施地域以外の先生方も大歓迎なのでぜひ参加してください。

【本年度の研修】

入門コース半日	6月 5日 (上市町)
	9月 24日 (高岡市)
入門コース1日	7月 30日 (入善町)
中級コース1日	8月 20日 (砺波市)

(入門コースよりやや専門的な内容)



入門コース半日 上市町の様子「川の流れの観察(左)」「地層の観察(右)」



教育相談部

本人や保護者、学校関係者からの相談をお受けします

- 富山県内の小学生、中学生、高校生についての相談をお受けします。
- 発達に心配のある乳幼児についても相談をお受けします。
- 電話相談と来所相談があります。
(来所相談は電話での予約が必要です。)

電話相談 受付時間
 月・金曜日 : 13:00~17:00
 火・水・木曜日 : 9:00~12:00
 : 13:00~17:00
 E-mail : soudan@tym.ed.jp (受付のみ)

いじめ・不登校・進路・人間関係

相談専用 TEL (076) 444-6167 (子ども育成)

- ・ いじめられている
- ・ 急に元気がなくなった
- ・ 遅刻や欠席が増えた
- ・ 登校しぶりがある
- ・ 朝、体調が悪くなる
- ・ 学校生活になじめない
- ・ 教室に入りにくい
- ・ 勉強する気になれない
- ・ 進路について悩んでいる
- ・ 反抗的である
- ・ 友達とうまくつきあえない
- ・ 生活態度や習慣が気になる
- ・ スマホ・ゲームがやめられない
- など

発達・就学・学習・気になる行動

相談専用 TEL (076) 444-6351 (特別支援教育)

- ・ 言葉が遅れている
- ・ 授業についていけない
- ・ 基本的な生活習慣が身につかない
- ・ 就学や進学について悩みがある
- ・ 読むことや書くことに時間がかかる
- ・ 順番を待つことが難しい
- ・ 落ち着きがない
- ・ 急に予定が変わるとパニックになる
- など

～みんなで食育の充実を～

学校における食育を推進し、「元気とやまっ子」の育成を目指しましょう！

「毎日しっかり朝ごはん」運動

朝食を食べる習慣を身に付け、朝から元気に活動する児童生徒の育成を目指し、平成19年度より「毎日しっかり朝ごはん」運動を実施しています。

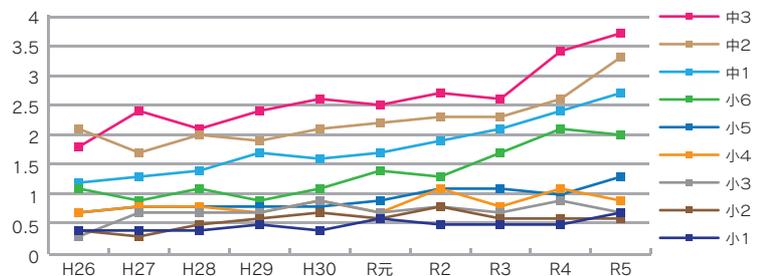
朝食の役割や大切さを啓発するため、毎年、県内全小・中・義務教育・高・特別支援学校に「食育カレンダー」を、小学1年生には「食育ランチマット」(資料1)を配布しています。

「とやまゲンキッズ作戦(健康づくりノート)」の調査項目にある朝食欠食率の推移(資料2)を見ると、継続した運動取組の成果が現れているものの、朝食欠食率は近年微増傾向にあります。

富山県が令和4年3月に策定した「第4期食育推進計画」には、令和8年までに朝食欠食率を限りなくゼロに近づけるという目標指標が掲げられています。今後とも、児童生徒が栄養バランスのよい朝食摂取を心がけ、朝から元気に活動できるよう、学校における食育の推進をよろしく願います。



(資料1) 食育ランチマット



(資料2) 朝食を食べてこない児童・生徒の割合 (%)

ストレスチェックについて - 教職員のメンタルヘルス -



自分で心の健康状態をチェックすることは、ストレスへの気づきを促し、健康管理や精神疾患の未然防止に役立ちます。ストレスチェックを受検し、自分の健康は、まずは自分で守りましょう。

※実施期間：令和6年7月1日～令和6年8月9日

心のセルフチェックシステムのご案内

公立学校共済組合では、教職員の方が365日いつでもできる心のセルフチェックシステムをインターネットで提供しています(利用時間 6:00～24:00)。初回の利用時は、「共済フォーラム」「福利とやま5月号」に記載されているログインID・パスワードでログインしてください。

<https://kokoronokenkou.jp/Stress/LoginPortal.aspx>

教職員・心の健康管理医による個別相談

県教育委員会と公立学校共済組合富山支部では、専門医を「教職員・心の健康管理医」として委嘱し、無料の個別相談を実施していますので、お気軽にご相談ください。

※利用について詳しいお問合せは、

保健体育課 (076-444-3460) 又は 公立学校共済組合富山支部 (076-432-7176) まで

第41回「とやま賞」贈呈式

第41回「とやま賞」贈呈式が5月21日（火）パレブラン高志会館で行われ、学術研究等で顕著な業績を挙げた研究者等を称え、新田知事が賞状と奨励金の目録を贈呈しました。贈呈式後には受賞者による記念講演が行われ、業績の内容や今後の抱負などを分かりやすくお話いただきました。

「とやま賞」は、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人または団体に贈られます。詳しくは財団ホームページをご覧ください。

<https://www.t-hito.or.jp/zaidan/toyamashou/index41th.html>



第41回「とやま賞」受賞者（敬称略、五十音順）

学術研究部門【医薬・生命科学分野】 藤井 拓人（富山大学）
牧野 祐紀（テキサス大学）
【理工分野】 岡田 智（東京工業大学）
【人文社会分野】 佐藤 聡美（聖路加国際大学）
長村 祥知（富山大学）



第1回とやま親学び推進協議会を開催

5月28日（火）に開催した「第1回とやま親学び推進協議会」では、小・中学校、幼稚園や保育園、PTA、市町村教育委員会、推進リーダー等の代表者が集まり、今年度の活動計画等について情報を共有しました。

各団体からは、「開催する園や学校、推進リーダー、PTAなど、関係者との連携を深めていきたい」「親学びについてSNSなどを活用してPRしていきたい」などの意見が出されました。

県教委では、親学び講座をコーディネートする推進リーダーの養成や、親学びや子育てに関する情報発信を行っています。県HP「子育てネット!とやま」には、親学び講座で使用する「親を学び伝える学習プログラム」の55事例や、基本的な生活習慣や親子のコミュニケーションなどに関する家庭教育動画を掲載しています。これらを活用しながら、子どもたちの健やかな成長のために、親同士がつながる機会の充実を図っていきます。



第1回とやま親学び推進協議会



ぜひご活用
ください!

「子育てネット!とやま」LINE公式アカウント

時代を生きた先人のこころをあなたの感性で表現しよう

令和6年度「高志の国文学」情景作品コンクール 作品募集

①文芸部門（散文・詩・短歌・俳句） ②美術部門 ③写真部門

美しく豊かな富山の自然や風土の中で育まれた富山ゆかりの「高志の国文学」に触れ、心に残る情景や心情を表現した中学生・高校生の作品を募集します。応募締切は9月9日（月）です。詳しい実施内容等については、募集要項や県のホームページをご覧ください。

ホームページ：<https://www.pref.toyama.jp/3009/houdou/20240611joukei.html>



昨年度 美術部門 中学生の部 知事賞
「鬼から逃げろ！」



昨年度 写真部門 高校生の部 知事賞
「光に飲まれて」

第73回富山県民謡民舞大会 「ふるさと民謡民舞まつり」

入場
無料

日時 令和6年12月1日（日）13：00開演 （12：30開場）

場所 氷見市芸術文化館（氷見市幸町31-9）

主催 富山県民謡民舞連盟（生涯学習・文化財室）

（一社）富山県芸術文化協会

富山県民謡民舞連盟では、本年度も富山県民謡民舞大会を開催します。

大会では、県内に伝承されている民謡民舞が一堂に会し、日頃の練習成果を発表します。

詳しいお問合せは、連盟事務局（生涯学習・文化財室 TEL：076-444-3456）まで。ふるさとの民謡民舞を、ぜひ、ご覧ください。



過去の大会より